

『東亜』2024年9月号目次

■特集 習近平の「三中全会」

* 習近平政権下の中国経済

2013年と今年、二つの「三中全会」決定に見る変化 津上俊哉

* 中国の改革・開放政策の重点の変化

—第20期三中全会の「決定」が示す方向性— 岡崎久実子

* 三中全会をめぐる国内外の認識ギャップ

—「自由化」幻想の終わりと習政権の課題 斎藤徳彦

■ASIA STREAM (2024年7-8月)

* 中国の動向 外資減少対策の条例を制定した習近平政権 濱本良一

* 台湾の動向 海上保安庁と海巡署が初の合同訓練 門間理良

* 朝鮮半島の動向 「極端的二重権力」に陥った韓国の政治状況 小針進

■COMPASS

* 遅れた三中全会と習近平の不安定な政権運営 李昊

* 揺らぐ中国のEC王「阿里巴巴」 山谷剛史

* 構図が固まった台湾政治を揺るがす「疑米論」 劉彦甫

■Briefing Room

* アメリカ大統領選挙の結果、対中国戦略は変化するのか 長尾賢

■マカオは今 [83]

* 都市の更新と拡張進むマカオ 塩出浩和

■Book Review on Asia 今月の一冊

* 『訟師の中国史—国家の鬼子と健訟（筑摩選書）』（夫馬進著） 嵯峨隆

■CHINA SCOPE

* 中国サッカー戦記（2）迷走の帰化ラッシュ 竹内誠一郎

■滄海中国

* 電影中国 喜劇（コメディ）その2 吉川龍生

■企画連載 グローバルパワーの移行期における中国の対外経済協力—インフラ投資を中心に（最終回）

* 開発協力の現状と、OECD-DAC 評価による援助協調のゆくえ 河野撰

■巻頭言

* どうする、習さん…… 国分良成

■New Publications on Asia

■表紙写真：新華社／アフロ

* 中国共産党大会の約1年後に開催されるというこれまでの慣例から半年以上遅れて、今年7月に第20期三中全会が開かれた。写真は会場に入る習近平氏ほか政治局常務委員の7名。